



2026年5月期 第2四半期(中間期) 決算の状況

2026年1月7日

証券コード: 1376
東証スタンダード市場

ビジョンと4つの事業

● カネコ種苗の目指すビジョン ●

「種」を通じて豊かな食生活・健康的な暮らしを全ての人に届ける

ビジョンを達成するための4つの事業

種苗事業



野菜種子・牧草種子・
サツマイモ品種の
育種、生産、販売

花き事業



花き種苗の育種、生産、販売
家庭用園芸資材の販売

農材事業



農薬・被覆肥料・
バイオスティミュラント資材の販売

施設材事業



農業資材の販売
養液栽培プラントの開発、設計、施工
温室の設計、施工

経営環境の変化と事業機会

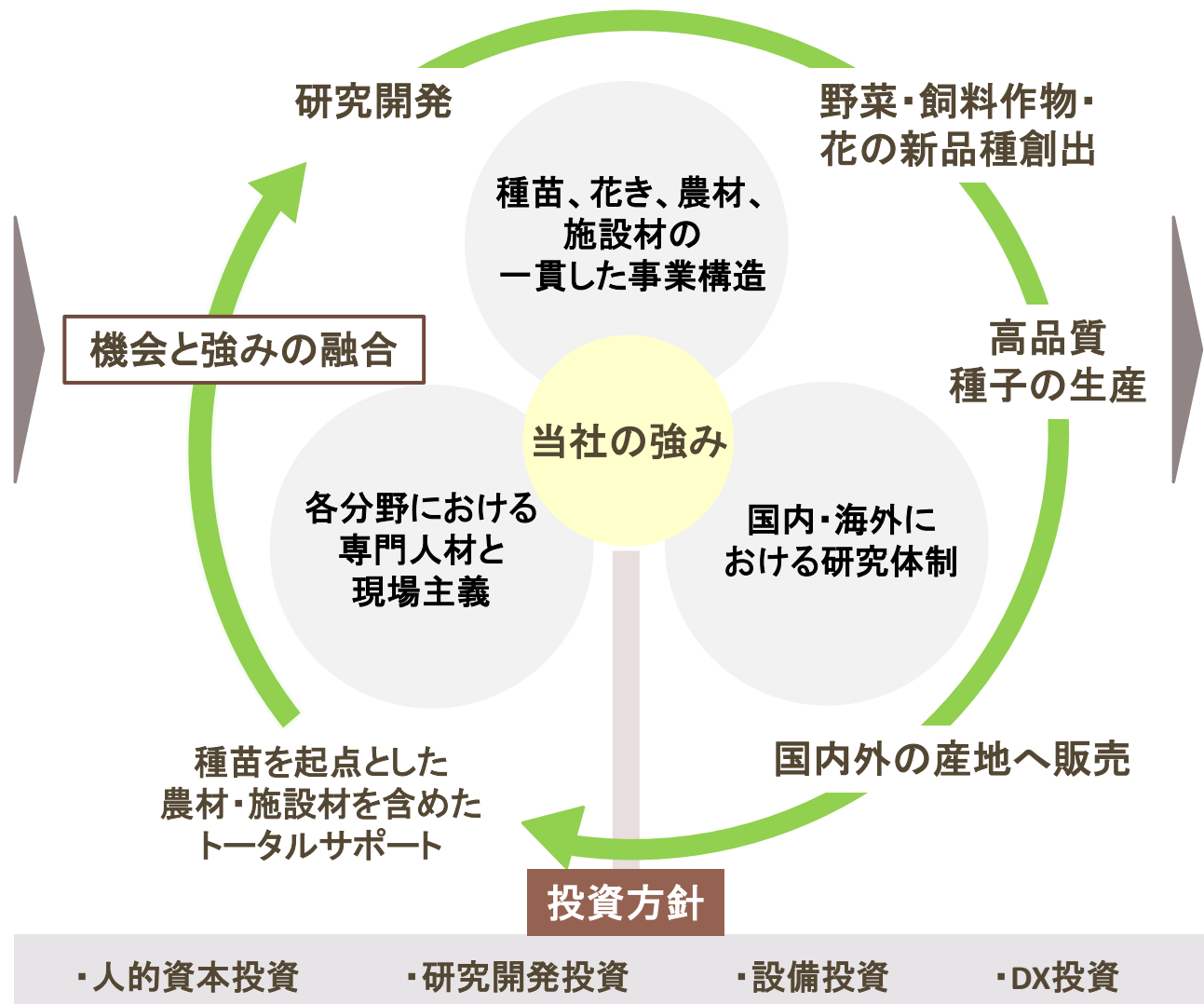
経営環境の変化

- ・異常気象による栽培環境の変化
- ・国際情勢の不安定化による国内生産基盤強化への対応
- ・持続可能な農業への意識変化
- ・海外食料需要の増大

事業機会

- ・異常気象に対応した品種開発
- ・飼料種子の開発・販売を通じた国産飼料増産による食料自給率の底上げ
- ・環境負荷を意識したプロダクトミックスへの変更
- ・海外への既存品種の販売と海外子会社と連携した新品種の開発

ビジネスモデル



農業への新しい価値の提供

環境適応特性と多収性を備えた野菜種子や飼料種子の提供

付加価値の高いオリジナル花き品種の提供

環境負荷軽減と食料安定供給を両立させる農業の実現

各事業がもたらす価値をつなぎ合わせた高収益農業モデルの実現

2026年5月期第2四半期：連結決算概要

単位：百万円

	25年5月期 2Q	26年5月期 2Q	前年同期比増減		26年5月期 通期予想
			金額	(%)	
売上高	28,096	28,838	742	2.6%	66,500
売上総利益	4,315	4,456	140	3.3%	—
売上総利益率	15.4%	15.5%	—	—	—
販売費及び一般管理費	3,975	3,970	△4	△0.1%	—
営業利益	340	485	145	42.7%	1,900
経常利益	431	567	135	31.4%	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	269	368	98	36.4%	1,500

2026年5月期第2四半期：セグメント別業績 概要

単位：百万円

	売上高				セグメント営業利益			
	25年5月期	26年5月期	前年同期比増減		25年5月期	26年5月期	前年同期比増減	
	2Q	2Q	金額	(%)	2Q	2Q	金額	(%)
種苗事業	4,253	4,223	△30	△0.7%	213	255	42	20.1%
花き事業	3,153	3,073	△79	△2.5%	△138	△78	59	—
農材事業	13,804	14,666	862	6.2%	575	652	76	13.4%
施設材事業	6,885	6,875	△10	△0.1%	156	148	△7	△5.0%
小計	28,096	28,838	742	2.6%	806	978	171	21.3%
全社費用	—	—	—	—	△466	△492	△26	5.6%
連結	28,096	28,838	742	2.6%	340	485	145	42.7%

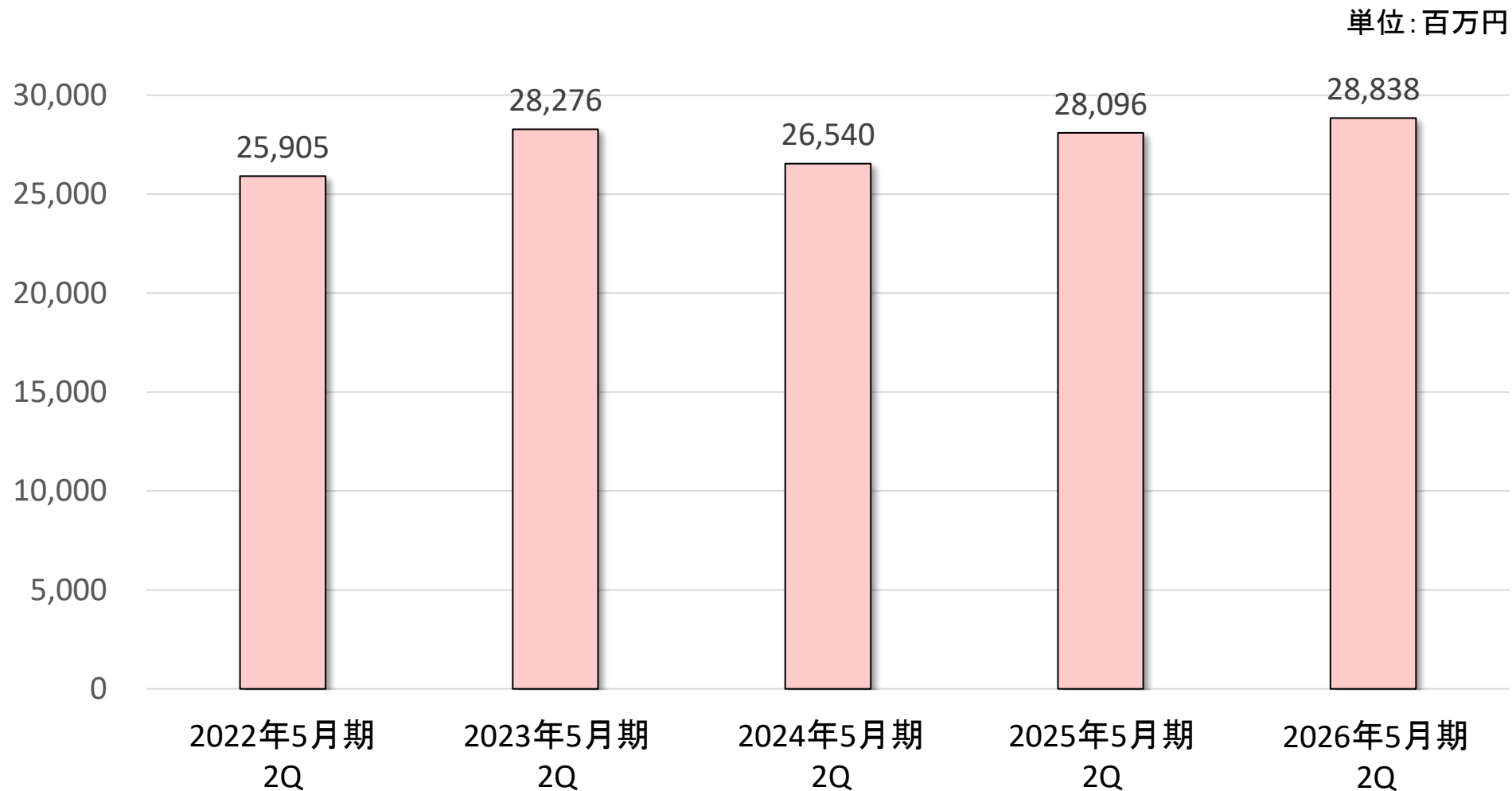
2026年5月期第2四半期：貸借対照表

単位：百万円

	25年5月期 2Q	26年5月期 2Q	増減
流動資産合計	32,191	31,735	△456
固定資産合計	10,549	13,196	2,647
資産合計	42,740	44,931	2,190
<div> > 主な増減要因 </div>			
現金及び預金	2,305	2,416	111
受取手形及び売掛金	13,546	12,406	△1,140
電子記録債権	2,190	3,094	903
有形固定資産	7,218	9,537	2,318

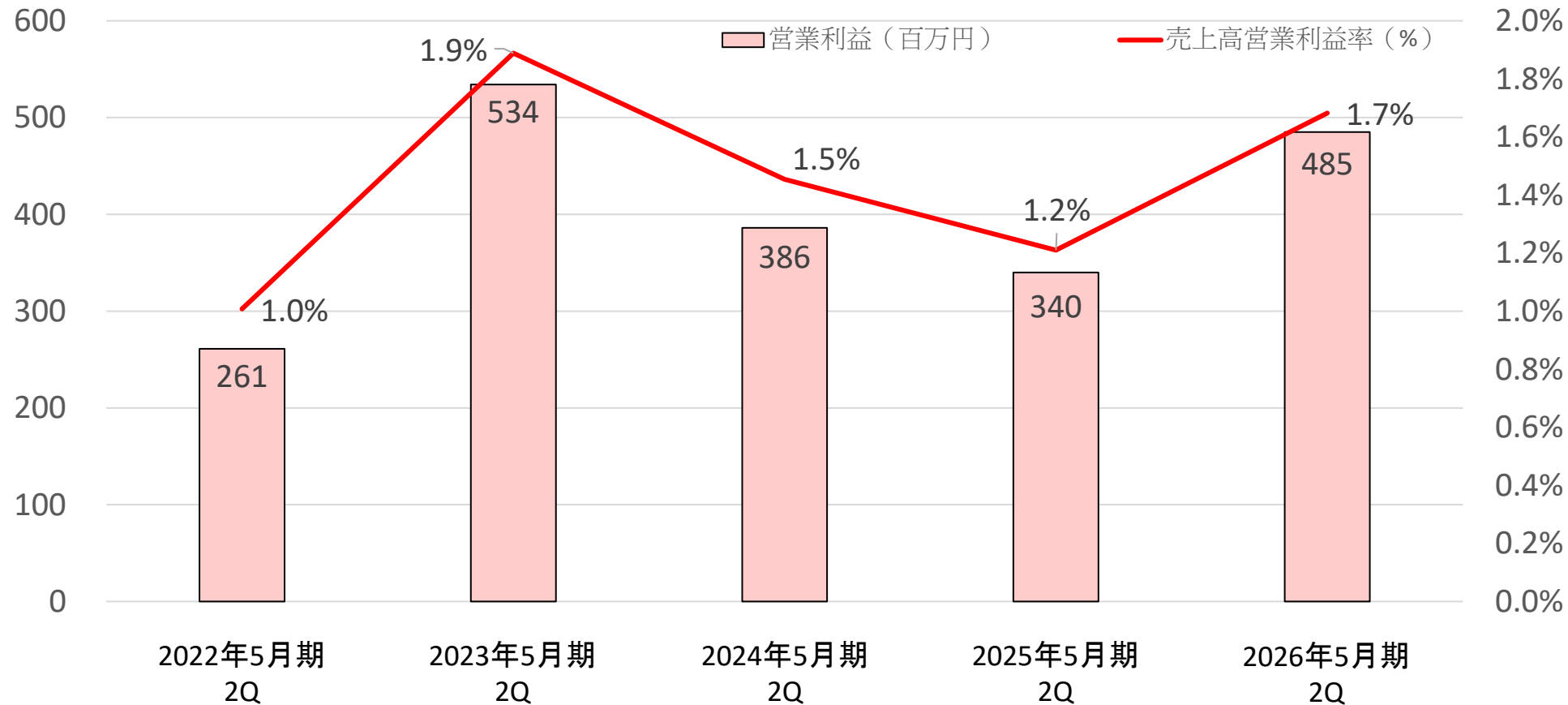
	25年5月期 2Q	26年5月期 2Q	増減
流動負債合計	17,088	18,246	1,157
固定負債合計	1,186	1,508	321
負債合計	18,274	19,754	1,479
純資産合計	24,466	25,177	711
負債・純資産合計	42,740	44,931	2,190
<div> > 主な増減要因 </div>			
短期借入金	1,490	2,930	1,440
利益剰余金	20,561	21,432	870

第2四半期：連結売上高



第2四半期：連結営業利益

単位：百万円



将来予測について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。